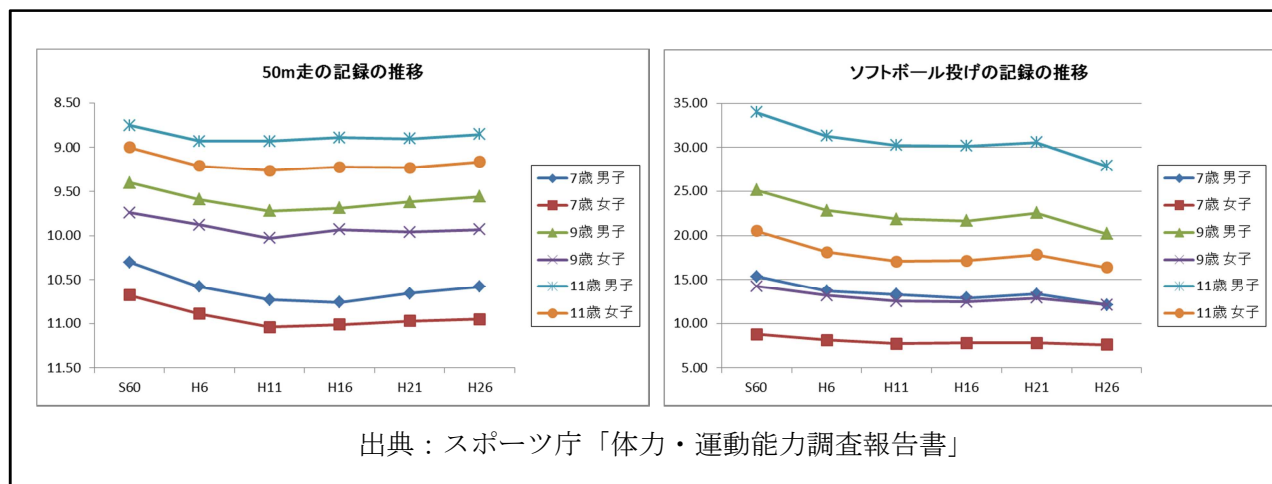


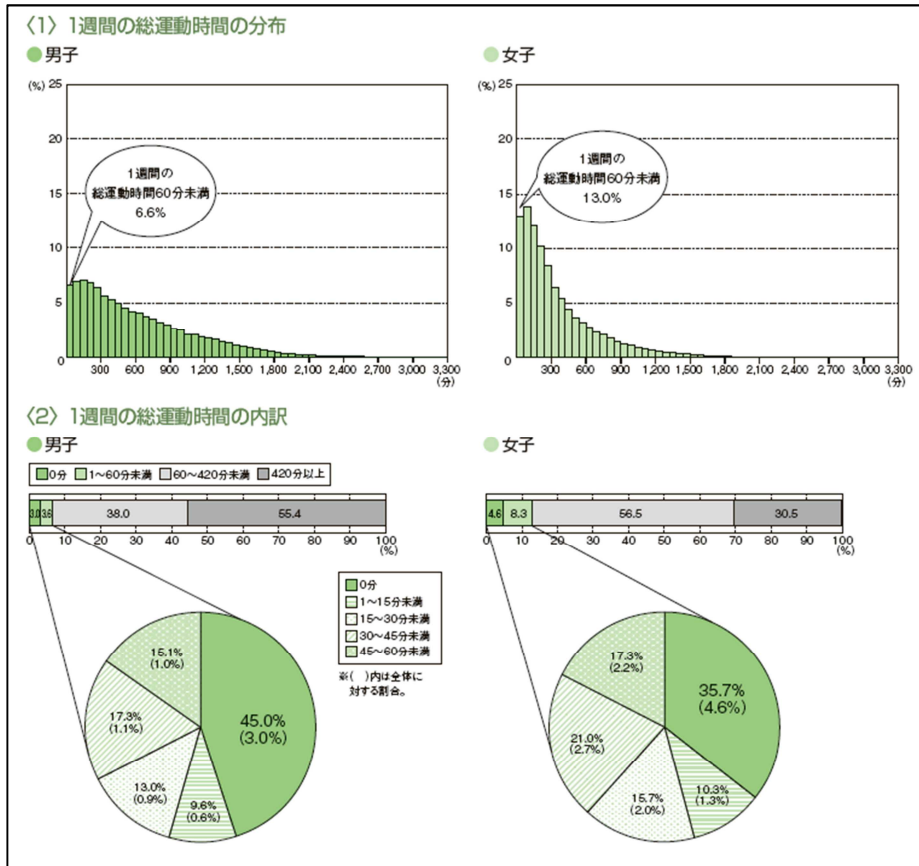
## 子供の体力向上について

### 1. 現状と課題

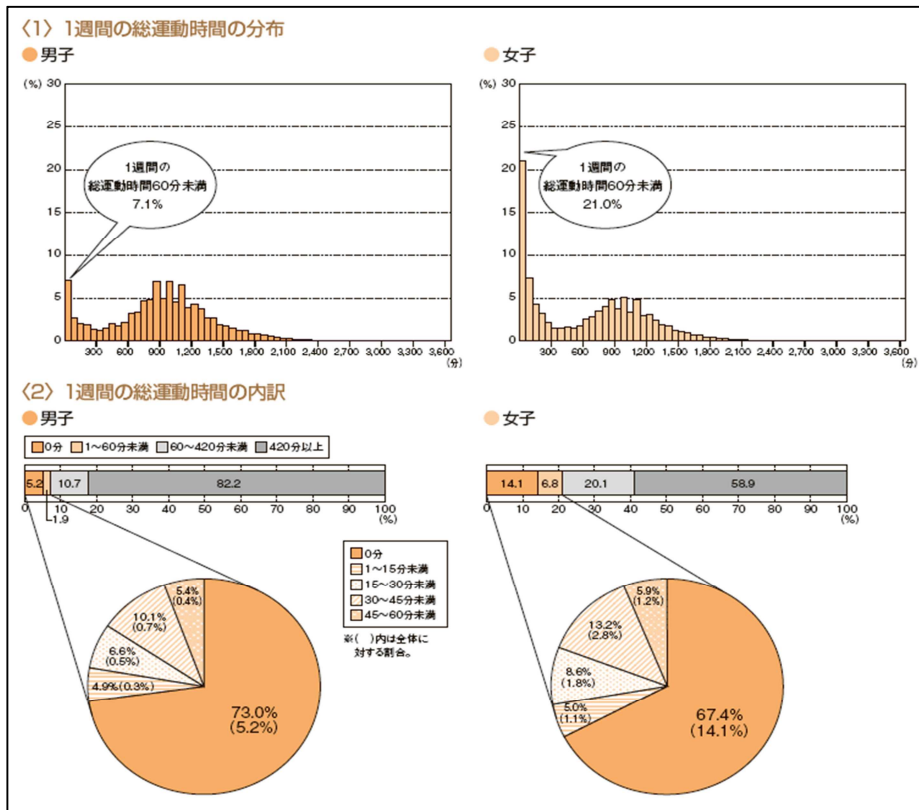
- ・子供にとってスポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものである。
- ・また、子供の体力は、生涯にわたって充実した生活を送るために必要な「生きる力」の基礎となる重要な要素である。
- ・しかしながら、子供の体力は、直近 17 年間の新体力テスト合計点の推移ではほとんどの年代で緩やかな向上傾向となっているが、体力水準が高かった昭和 60 年頃と比較すると、中学生男子の 50m 走、ハンドボール投げ及び高校生男子の 50m 走を除き依然低い水準にとどまっている。
- ・また、積極的にスポーツをする子供とそうでない子供の二極化が顕著に認められており、すべての子供がスポーツの楽しさや喜びを味わうことができるようにすることも課題である。
- ・特に幼児期においては、多様な動きの獲得の遅れや体力や運動能力の低下が指摘されており、多様な動きを含む遊びの経験の減少、体の操作が未熟な幼児の増加、自発的な運動機会の減少、体を動かす機会の減少といった問題が生じている。
- ・そのためには、日常的に体を動かす運動習慣の確立に向けて、安全にスポーツや遊びを実施できる機会の確保が重要である。



## 1 週間の総運動時間（小学校）



## 1 週間の総運動時間（中学校）



出典：スポーツ庁「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」

## 2. 施策の方向性（案）

平成 33 年度までに子供の体力水準が高かった昭和 60 年頃の水準まで引き上げることができるよう、子供のスポーツ機会の充実を図る。

## 3. 具体的施策（案）

### （1）学校における体力向上の取組

#### ① 全国的な体力・運動能力等調査を実施

国は全国の小学校 5 年生、中学校 2 年生を対象とした、全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、全国的な子供の体力や運動習慣等の状況を把握・分析することにより課題や好事例を明らかにするとともに、各教育委員会や各学校単位での分析を促すことにより、各学校において、子供たちが楽しみながら運動やスポーツに触れる機会の充実が進むようにする。

#### ② 子供の体力向上の取組に対する支援

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果からみられる体力向上に向けた課題に対応した運動プログラム等を作成し普及するほか、教育委員会に体力向上に向けた継続的な検証改善サイクルが確立されるよう支援する。

#### ③ 幼児期の運動に関する普及啓発

全国の幼稚園・保育所等に配布した「幼児期の運動に関する指導参考資料」の活用を促すとともに、幼児期の運動促進に関しての科学的知見を取り入れた調査研究を行い、それらの結果を全国の幼稚園・保育所等に普及していく。

#### ④ 運動部活動の充実

部活動に関する総合的な実態調査の結果も踏まえ、国、地方公共団体及び学校は、生徒のスポーツに関する多様なニーズに応えた運動部活動が実施できるよう、シーズン制等による複数種目実施、複数校による合同実施など、生徒の運動部活動への参加機会を充実させるための取組を行う。

### （2）地域における運動機会の充実

放課後・休暇・長期休暇なども含めた年間を通じてのスポーツ機会の確保を図ることが重要であり、地域や家庭との連携強化を図ることが重要である。

#### ① 放課後の運動機会の提供

国は、プレイリーダーの派遣や運動プログラムの提供等により、放課後子供教室で小学生が多様な運動を身に付け体を動かす楽しさを体感することができる環境の整備を図る。また、（公財）日本体育協会等と連携して、地方公共団体における放課後子供教室等におけるスポーツ活動に関する取り組みを支援する。

#### ② 地域スポーツクラブの活用

国は、自分にあったスポーツ種目が選択できるようにする環境づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等を活用した、地域における子供のスポーツ機会の充実をはかる。地方公共団体は、地域のスポーツクラブと連携し、スポーツクラブ活動の活性化をはかり、参加率を向上させる取組の実施が期待される。

### ③ 家庭との連携

子供の体力向上においては、家庭の果たす役割が極めて重要であることから、国は、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいけるような枠組みの構築が促進されるよう支援する。特に、幼児期においては、多様な動きが経験できるように様々な遊びを取り入れること、楽しく体を動かす時間を確保すること、発達の特性に応じた遊びを提供することが大切であり、保護者と連携して、子供の体力向上や生活習慣の改善に係る重要性を周知するための取組を行う。